

東勝吉——由布を描く 描く喜び

OPAM

2026 コレクションII 特集展示

Featured Artist Katsukichi Higashi

2026年6月4日(木)ー8月31日(月)

YUFU: The Joy of Painting

大分県立美術館 3階 コレクション展示室

開館時間 10:00-19:00 (入場は閉館の30分前まで)

*金曜日・土曜日は20:00まで *7/13(月)は展示替えのため休展

東



勝

東勝吉《川西から見た由布山》1990年代 由布院アートストック蔵

観覧料 一般300 [250] 円／大学・高校生200 [150] 円／中学生以下無料

*[]内は有料入場20名以上の団体料金

*中学生以下は無料 *大分県芸術文化友の会 びび KOTOBUKI 無料、TAKASAGO 無料、UME 団体料金

*高校生は土曜日に観覧する場合は無料 *県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)と

その引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料

*身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料。

*学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。

吉

主催：大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館 共催：由布市

協力：NPO法人由布院アートストック、特別養護老人ホーム「温水園」

東勝吉——由布を描く 描く喜び

Featured Artist Katsukichi Higashi

2026 コレクションII 特集展示

YUFU: The Joy of Painting



東勝吉 Katsukichi Higashi

1908年2月21日 大分県日田市に生まれる
1986年11月 特別養護老人ホーム温水園（湯布院町）に入所
1991年 本格的に絵筆を握る（83歳）
1997年11月 初個展『東勝吉 素朴画展』由布院駅アートホール
2007年3月14日 温水園にて永眠（享年99歳）
2009年2月 回顧展『故郷に錦を飾る』日田市文化会館
2011年～隔年開催 東勝吉賞水彩画公募展「陽はまた昇る-83歳からの出発-」
2021年7-9月 『Wall&Bridge 世界にふれる 世界を生きる』東京都美術館
2024年9-11月 『森の芸術祭 晴れの国・岡山』岡山県

[関連イベント / Event]

学芸員による見どころツアー

日時 | 2026年6月6日(土)、20日(土)、7月4日(土)、18日(土)、
8月8日(土)、22日(土) 各日14:00-15:00

[同時期開催の展覧会 / Other Exhibition]

ラブ! ヴァンガード!! 前衛を愛した、あるコレクターの眼 ——草間彌生、ヘイター and more

会期 | 2026年6月13日(土) - 8月16日(日)
会場 | 大分県立美術館3階 展示室B

Hello Kitty 展—わたしが変わるとキティも変わる—

会期 | 2026年7月17日(金) - 9月23日(水・祝)
会場 | 大分県立美術館1階 展示室A

[アクセス / Access]



〒870-0036 大分市寿町2番1号

E-mail | info@opam.jp

展覧会情報は
コチラ↓



大分県立美術館

コレクションIIでは、地域に残された特筆すべき文化活動に光をあて、湯布院で83歳にして絵筆をとった画家・東勝吉の作品を、当館の風景画コレクションとともに展示します。東勝吉は日田市の生まれ。山仕事に従事したのち、終の住みかとした湯布院の特別養護老人ホーム「温水園」にて本格的に制作を開始しました。人生の晩年に始まった創作活動は、静かな時間のなかで育まれ、99歳で亡くなるまでの16年間に100点を超える水彩画が生み出されました。由布岳を望む山なみ、田園、集落の家並みなど、身近な風景の数々は、やわらかな色彩と独特で丹念な筆致によって描かれています。朝夕の光や季節の移ろいをとらえた画面には、自然を見つめる確かな視線と、描くことへの深い没入が感じられます。独学でひたむきに描き続けた東の作品を通して、表現することの喜びを、あらためて見つめ直す機会となれば幸いです。

1. 片多徳郎《夏山急雨》1914年(寄託品) | 2. 高山辰雄《由布の里道》1998年
3. 河合誓徳《草映》1991年 | 4. 田能村竹田《福川舟遊図》1830年(重要文化財) 前期展示

